

令和7年度 第3回 文化財保護委員会会議録

- 日時：令和8年3月21日（土）午後1時15分から午後4時20分まで（調査は午後1時15分から3時30分まで。会議は午後3時45分から4時20分まで）
- 場所：宮代町郷土資料館2階会議室兼資料取扱室
- 出席者：長谷川清一委員、青木秀雄委員、井上海委員、荒木謙勝委員
島村圭一教育長、飯山保孝室長、河井伸一主査、横内美穂主査、中村啓子主任
- 欠席者：新井浩文委員、中村誠二委員、鈴木晶委員
- 傍聴者：0名

会議次第

- 1 開 会
- 2 教育長挨拶
- 3 委員長・副委員長欠席のため、進行担当として長谷川委員が選出された。
- 4 議 題
 - (1) 現地調査
 - (2) 現地調査に関する意見交換について
 - (3) その他

【会議記録】

横内主査 宝生院の調査、ありがとうございます。それでは改めましてただ今から令和7年度第3回、文化財保護委員会を開会させていただきます。本日進行は、文化財保護担当主査の横内が務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。さて、本日の会議は3名の委員が御欠席となっておりますが、宮代町文化財保護委員会規則第9条の規定に基づきまして、過半数のご出席をいただきましたので無事に成立となっております。

それでは、次第に従って進めさせていただきたいと思います。本日は委員長・副委員長共に御欠席ではありますが、前委員長でもある島村教育長にご出席いただいておりますので、教育長よりご挨拶をいただきたいと思います。

島村教育長 お疲れ様でした。実際に現地で実物を見ると、写真などで得ていたイメージとは全然違うので、やっぱり調査はいいなと改めて思いました。記録として残すために意見交換をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

横内主査 ありがとうございます。本日は委員長、副委員長共に御欠席であることから、本日の進行をどなたかにお願いしたいのですが、委員互選でお願いできればと思うのですがいかがでしょうか。(長谷川委員を推す声あり)では長谷川委員に本日の進行をお願いいたします。

長谷川委員 ご指名でございますので、委員長に代わり、本日の進行を勤めさせていただきます。次第に従いますと、4の意見交換から進めさせていただきます。本日の調査において気づいたことや意見などを、記憶の新しいうちに共有していきたいと思っております。青木委員から順にお願いします。

青木委員 今話しのあった通り、現地で現物を見ないといけないと思っておりました。特に最後に調査した仏像は、非常に精巧に作られていました。より一層の調査や他の資料との比較検討などもする必要があると思っております。あと和鏡が2面ありましたが、これらについても絵柄などを調べていければ面白いのではないかとおりました。

荒木委員 私は、前は写真担当で、建物の外側を撮影したので、今回の計測の作業は初めてでした。今回の調査対象に小さな仏像がありましたが、最近目が悪くなり、よく見る事ができませんでした。また後で資料などを拝見したいと思います。あと、旗(幟のこと)ですか、7メートルという大きいものをよく今まで揚げていたことに驚きました。本来なら風などで、傷んだりするものがきちんと保管されてきたからです。以上です。

井上委員 私も今日初めて調査に参加しました。特に最後に拝見した内陣の釈迦三尊像は、毘沙門天と地藏尊の表情や衣紋の残り方、表面の截金模様の表現など、大素晴らしい作品と思っておりました。今日よく拝見した作品については申し上げます。まず絵馬・熊野詣です。少しずつ埃を払うと絵が見えてきて、剥落は顕著でしたが、絵の具の色そのものがかなり残っていました。日の光にかなり当たるような環境であれば、もっと退色が進むと思うので、直射日光が当たらない場所にあったと思っております。幸いにも高野山大師、那智山一番など文字等が残っており、拝んでいる人の手元や表情や、旅装束の男性の顔や旅装束の詳細や、建物の中にも鈴があり、その先に紐がついているところまでわかる細かい描写が残っておりました。剥落が進んでいるところがかなり多かったので、これからも保存や管理の課題が多いと思っておりましたが、とてもいい作品と思っております。内陣の犬型像は推測で華瓶などの持手の部分ではないかとしておりましたが、実際にそのように思っておりました。(3体あり)華瓶についているうちの1体と、対になるような「あ・うん」の表情の作像でした。接続部と思われる部分も確認できたので、華瓶自体が2つでセットとなるものであったと思っております。あと内陣の三尊もとてもいい仏像を拝見できてお釈迦様の三尊の組み合わせは、通常は文殊・普賢になると思うので、お地藏様と毘沙門天はもともとは脇侍ではない形で伝来していると思うのですが、ただお地藏様も毘沙門天も、顔

から衣紋から装飾、台座の彫り物なども精巧な作りで、江戸時代の後期よりは江戸前期と言ってもいいなと思われま。大変貴重な作品がこのように残っていて素晴らしいと思いました。ただ真ん中のお釈迦様とは製作年代に隔たりがあるのではないかと思います。お釈迦様の現状が、顔の表面が面をつけたような状態にひび割れて少しずれていたり、蓮台の表面にも多分触ったら外れそうな感じの剥落が顕著でしたので、取り扱いがかなり難しいのかなと思いました。

長谷川委員 私は主に脇間の資料の計測を中心に行いました。机(前机)の計測した後、裏側に文字が書いてある部分の写真をはつきりと撮りましたが、後で文字筆耕の確認などができるかなと思います。また内陣にある小さな資料や三尊像ですが、ルーペと磁石を持っていたので、その素材が金属であることはわかるけれども何の金属なのか、鉄なのかどうなのかを知る目安として、磁石に付くか付かないかである程度の振り分けができることが良かったと思います。こういった金属製の資料があるときには、小さな磁石でもあると大まかに把握ができるのかなという感想を持ちました。教育長さんはいかがでしたか。

島村教育長 やはり、皆さんと同様、三尊像は良かったです。想像以上でした。どのような来歴でここ(内陣)に収まったかわかりませんし、一昨年の調査から本格的に調査した成果が徐々に出てきていますので、もう少し体系的にまとめて、今後の指定候補として特に机(前机・長机)などは年号も入っているのでもいいのではないかと思います。あと、釈迦堂は秘仏で厨子に入っているですか。(事務局・・・厨子から出た状態です。釈迦堂自体が閉じた状態だから、そういうことかもしれないです。)あの仏像はまた調べていない、お堂自体も作りがよく、釈迦堂ができた時の史料もあるとのことなので、釈迦堂の仏像なども合わせて調べられたらよいと思います。

長谷川委員 ありがとうございます。調査にあたっては、事務局の方々もご担当いただいているところなので中村さんから順によろしいでしょうか。

中村主任 本日は、正徳三年の長机の寸法を測り、書かれている文字の確認をしました。文字の中の「無縁講」がどのような講なのか興味を持ちました。それから犬型像は井上さんのご説明に補足させていただくと、華瓶に「大正10年3月13日百間西原組施主新井みね」という文字が線刻で残されていました。

河井主査 井上さんにお聞きしたいのですが、釈迦三尊像があつて、現状では毘沙門天と地藏尊だということですが、毘沙門天は江戸時代後期より前という認識で、地藏尊もそうだとお考えですか。

井上委員 お地藏様も毘沙門天も、どちらもおそらく同じ時期に作られると思います。台座の作りや像の大きさもそうですし、表情とか衣紋の彫り方とかを全体的に見ても、お地藏さんと毘沙門天の2つは、おそらく製作年代が一緒と考えていいのではないかなと思います。

- 河井主査 釈迦如来に関しては、それとは時代間があるという風にお話でしたが、釈迦如来はどれぐらいと考えていますか。
- 井上委員 江戸時代かなとは思いますが、この2つの脇侍よりは前なのか後なのか同じぐらいなのか、今の状態ではなんとも言えないところです。お厨子の全体的な内寸や、空間を考えると、お地蔵さんと毘沙門天がももとの三尊セットじゃなかったとして、お釈迦様だけであのお厨子とはちょっと考えられないぐらいスペースにゆとりがあるので、他の像が何か入っていただろうと思います。本来なら文殊・普賢なのですが、今は伝わっていないということで説明がしやすいと思います。お地蔵様と毘沙門天の像がどこから来たのかってなると、現状では判断材料が少ないかと思います。
- 河井主査 ありがとうございます。で、この釈迦如来は、釈迦堂のものとは関係ないですか。前回、釈迦堂の中を見ましたよね。
- 横内主査 全然、像の形が違いますし、釈迦堂の像は坐像でした。塗ってあるので、おそらく修理を受けていると思われるので、御像の年代自体はわかりません。
- 島村教育長 今の慶応の釈迦堂に建てられた釈迦堂の前の釈迦堂があって、その本尊だったかもしれないし、あの堂よりずっと古いでしょう。だから、あの釈迦如来の来歴がわからない。
- 河井主査 あとは長谷川さんや飯山室長などと一緒に計測作業等をしていました。僕も思ったのは、長机と前机については正徳と元禄という年号が入っているし、調査をして、調査をした以上、把握するっていうことも重要ですが、町指定文化財の指定を考えると、大きな候補になるのはこの机2つかと思います。文字が書かれているという意味では、この2つは指定候補として、いいのではないかと感じました。
- 横内主査 今、河井さんが話していたように、前机と長机についてはすでに前回の調査の後を受けて、あの指定候補一覧には上がっていますが、その中でも優先的に指定に持っていく候補としてはいいのかなと思います。内陣も、内陣の下の空洞の中に「誕生仏」だったり、もう1体「毘沙門天」があるということが確認できたようなので、まだまだ未確認のものが見つかる可能性があるのと、内陣の後ろにある祖師像を全く調査していないので、その確認も必要なのかなと感じました。そして、残りの基本的な調査については、今後は事務局の方で行い、詳細をご報告する形で進めていければと考えています。また、五社神社のご神体である和鏡の箱にある仏像の状態と、地蔵尊像と毘沙門天像がとても似ていることが気になりました。以上です。
- 飯山室長 私はここの宝生院に入るところか、文化財の調査自体初めてなので、文化財の調査の進め方を知りました。時間がかかる作業だということを感じました。
- 長谷川委員 ありがとうございます。短い時間でしたけども、調査をしていく中でいろんな発見もあって、ここで意見を交わすことにより、共有できたと思います。またこの意見交換の中では漏れてしまったけれども、調査カードには記入してあることもあるかと

思いますので、事務局でまとめて次回会議の時などに調査報告のような形で共有していきたいと思います。よろしくをお願いします。

その他に全体を通してお気づきになったこととかありますか。今後は、また委員としての調査はありますか

横内主査 一応、今期の2年間が今日で終わりということになりまして、また改めて来期にということになるかと思いますが、前机と長机については、これで2度調査していることになるので、具体的に指定文化財にする協議をしていただくには、十分なデータが得られたと考えております。ただ、宝生院さんにおいては他にも調査対象となるものが見つかり、まだまだボリュームがあるようなので、それらについては事務局が調査の上、順次報告させていただいて、指定文化財の候補に挙げるときには、必要に応じて見ていただくという風に進めてさせていただきたいと思います。

長谷川委員 はい、ありがとうございます。それで今回の調査もまだ途中ですが、今後、指定の方に前向きに検討していく方向で会としても進んでいきたいと考えております。これからは委員会としては調査に行けなくても、個別の委員としてお手伝いとかできるかと思いますが、その時はお声がけをいただいて、できる人は調査に参加するという形でもいいかと思いますが、調整をお願いします。

その他ということで何かありますでしょうか。

井上委員 開催中の企画展「埼玉の宝物」について、ご自身が担当されたコーナーの史料などを中心に情報提供あり。

河井主査 ①前日開催した、歴史講座「西光院の歴史と文化財」について、その参加者数や様子について報告。②常設展示室内の中世のコーナーにおいて、展示物を増やしリニューアルほどではないが充実させた件について報告。③最近、来館者数が増加傾向にある件について、その理由の一つとして、YouTube で埼玉県を歴史をよく扱っているユーチューバーが宮代町を取り上げてくれたことに起因するなどの情報提供。

長谷川委員 ありがとうございます。他に無ければ事務局の方にお返ししたいと思います。

横内主査 ありがとうございます。本日をもって今期の文化財保護委員会2年間が終了となりますが、荒木委員が今日で終わりということになるので、ご挨拶をいただければと思います。

荒木委員 (ご挨拶あり)

横内主査 荒木さんありがとうございます。それでは、他に特に内容であれば、この会議はこれで終わりにさせていただきたいと思います。本日は調査も含めましてどうもありがとうございました。お帰りの際に、閉館時間まで時間がありますので、企画展「祈りと おふだ」の展示をご覧いただければと思います。どうもありがとうございました。